

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-18853

(43)公開日 平成9年(1997)1月17日

(51)Int.Cl. ⁶ H 04 N 7/16 H 04 L 12/14	識別記号 9466-5K	序内整理番号 F I H 04 N 7/16 H 04 L 11/02	技術表示箇所 C F
---	-----------------	--	------------------

審査請求 未請求 請求項の数8 O.L (全5頁)

(21)出願番号 特願平7-166234

(22)出願日 平成7年(1995)6月30日

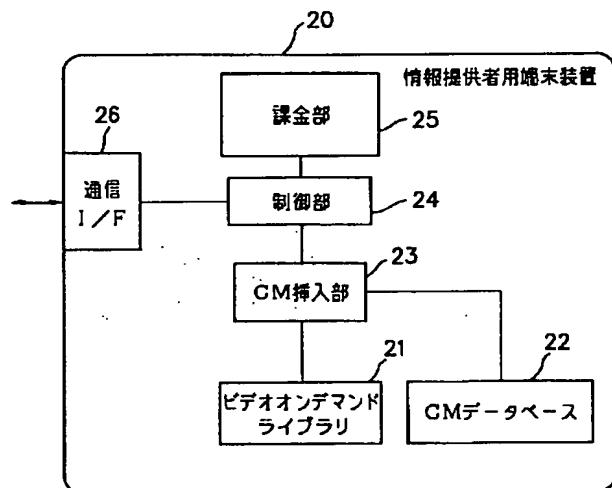
(71)出願人 000001007
キヤノン株式会社
東京都大田区下丸子3丁目30番2号
(72)発明者 鈴木 敏彰
東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内
(74)代理人 弁理士 國分 孝悦

(54)【発明の名称】 マルチメディア通信システム及び端末装置

(57)【要約】

【目的】 マルチメディアネットワークにおいて、スポンサから提供されるCMについて適正に課金する。

【構成】 情報提供者用端末装置20はネットワークを通じて利用者から送られて来るCM受信の有無を受信する。CMを受信する場合は、CM挿入部23はビデオオンデマンドライブラリ21から取り出したビデオ情報にCMデータベース22から取り出したCMを挿入して、制御部24、通信インターフェイス26からネットワークを通じて利用者に送出する。これと共に課金部25からスポンサに対して課金請求情報を送る。利用者がCMを受信しなかった場合は、上記ビデオ情報のみが送られ、スポンサに課金は行われない。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 利用者が情報を受信するための利用者用端末装置と、
上記利用者に上記情報を提供するための情報提供者が用いる情報提供者用端末装置と、
上記情報を付加する付加情報をそれを提供するスポンサが用いるスポンサ用端末装置と、
上記各端末装置が接続されるネットワークと、
上記利用者が受信した付加情報に応じた金額を上記スポンサに課金するための課金手段とを備えたマルチメディア通信システム。

【請求項2】 上記課金手段は、上記付加情報を上記利用者が受信した頻度に応じた金額を上記スポンサに課金するように成された請求項1記載のマルチメディア通信システム。

【請求項3】 上記課金手段は、同一の付加情報に関して上記スポンサに課金される回数を制限する手段を備えた請求項1記載のマルチメディア通信システム。

【請求項4】 上記スポンサ用端末装置に、上記情報提供者用端末装置からの上記付加情報に関する課金の請求があったときこの課金請求情報を出力する出力手段を備えた請求項1記載のマルチメディア通信システム。

【請求項5】 上記スポンサ用端末装置に、上記課金請求情報及び上記付加情報の課金額を記憶する記憶手段を設けた請求項4記載のマルチメディア通信システム。

【請求項6】 利用者がネットワークを通じて情報を受信する受信手段と、
上記情報に付加される付加情報を受信するか否かを選択する選択手段とを備えた利用者用端末装置。

【請求項7】 受信者からの要求に応じて情報提供者がネットワークを通じて情報を送信する通信システムに用いられる情報提供者用端末装置であって、
上記受信者の要求に応じて上記情報に付加情報を挿入する挿入手段を備えた情報提供者用端末装置。

【請求項8】 受信者の要求に応じて情報を提供するための情報提供者が用いる情報提供者用端末装置であって、
上記受信者が要求した情報以外の付加情報を受信した際には、この付加情報に応じた金額を付加情報を送信した端末装置に対して課金するための課金手段を備えた情報提供者用端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、動画像データ、静止画像データ、音声データ、コンピュータデータ等の情報を伝送するマルチメディア通信システム及びそれに用いる端末装置に関し、特に情報の提供に対する課金に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、幹線系通信網における光ファイバ

ネットワークの整備、それを用いたB-ISDNの具体化、ケーブルシステムの普及、通信衛星の実用化、ローカルネットワークの普及など、様々な通信網が急速に整備されており、また、それらの相互接続も積極的になされている。一方、これらの情報通信ネットワークを用いて、キャラクタデータのみでなく、静止画、音声、動画などいわゆるマルチメディアと呼ばれる情報が、世界的な規模で交換されるようになってきている。このような状況の中で、マルチメディア情報ネットワークを用いた情報サービス産業も急速に拡大してきている。例えば、次のような情報サービスがマルチメディア情報ネットワークを前提として開発・展開されてきている。

【0003】 (1) ビデオライブラリに端末からアクセスして好みのものを選択・鑑賞できるビデオオンデマンド

(2) ゲームライブラリの中から好みのものを選択し、遠くの人とプレイするゲーム・ネットワーク

(3) 各種のデータベースにアクセスし、必要な情報を呼び出す情報検索サービス

(4) 何十万点もの商品から欲しい商品を検索し購入する。

(5) 利用者が参加する視聴者参加TV

(6) 遠く離れた人達が資料を共有しながら話し合いを進めるTV会議

【0004】 これらのサービスを実用化するうえで、「利用したサービスの対価を確実にサービス提供者に渡す」という課金の技術は重要な位置を占める。特に、情報やソフトウェア等の不正コピーといった著作権に関する問題を考えた場合、正当に課金がなされるか否かは、上述のマルチメディア情報ネットワークを前提とした情報サービス産業にとって死活問題となる。

【0005】 しかしながら従来の課金方式は、ケーブルテレビシステムや衛星放送のように利用頻度に無関係な月極の課金方式であったり、またはコンピュータの利用サービスのように、情報の種類や質に無関係な使用頻度（または使用時間）のみを計数した課金方式であることが多かった。または、パソコン通信等の双方向システムの場合等に情報を提供するものに対する課金が通信時間と通信速度の二つからなる料金体系を用いるなどしているが、対価を支払ってでも情報を発信したいという者の要求に十分対応できなかった。またCATV等では、一方的に商業広告を発するだけで、その商業広告を受信する、利用者の視聴頻度に応じて課金されることはなかった。また、情報を送り出す者に課金して情報を受け取る者が情報を受け取った場合に料金が支払われるということもなく、情報の発信、受信における適正な課金がなされていなかった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 上述のような情報やサービスの種類や質を依存しない従来の課金方式では、今

後さらに広がっていくことが予想される多様な情報やサービスに対応していくことは困難であり、適正な課金を行うことが重要な問題となっていた。

【0007】本発明は上述のような実情に鑑みてなされたものであり、特に商業広告等の付加情報について適正な課金を行うことのできるマルチメディア通信システム及び端末装置を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明においては、利用者が情報を受信するための利用者用端末装置と、上記利用者に上記情報を提供するための情報提供者が用いる情報提供者用端末装置と、上記付加情報のスポンサが用いるスポンサ用端末装置と、上記各端末装置が接続されるネットワークと、上記利用者が受信した付加情報に応じた金額を上記スポンサに課金するための課金手段とを設けている。

【0009】請求項6の発明においては、利用者がネットワークを通じて情報を受信する受信手段と、上記情報に付加される付加情報を受信するか否かを選択する選択手段とを設けている。

【0010】請求項7の発明においては、受信者からの要求に応じて情報提供者がネットワークを通じて情報を送信する通信システムに用いられる情報提供者用端末装置であって、上記受信者の要求に応じて上記情報に付加情報を挿入する挿入手段を設けている。

【0011】請求項8の発明においては、受信者の要求に応じて情報を提供するための情報提供者が用いる情報提供者用端末装置であって、上記受信者が要求した情報以外の付加情報を受信した際には、この付加情報に応じた金額を付加情報を送信した端末装置に対して課金するための課金手段を設けている。

【0012】

【作用】本発明によれば、利用者が付加情報を受信すると、スポンサに対して課金手段が課金するので、利用者の負担が軽くなると共に、スポンサにとっても付加情報が利用されるので、両者にとって公平で適正な課金を行うことができる。

【0013】

【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。図1はマルチメディアネットワークにおいて利用者が用いる利用者用端末装置10の実施例を示す。この端末装置10は、外部との通信を行う通信インターフェイス11、送られてきた信号を不図示のディスプレイに表示したり、信号チャンネルの指定などを行うユーザ入出力部12、利用者が付加情報としての商業広告（以下CMと言う）の受信の有無の選択をキーボードまたはスイッチなどによって指定するCM選択部13、通信インターフェイス11から送られて来る信号をデジタルからアナログに変換するといった信号の変換を行ったり、ユーザ入出力部12やCM選択部13の指定に応じて信号の選択

を行う制御部14を有している。

【0014】この端末装置10は利用者の入力と出力を行い、特にCMを受信するかどうかを利用者がCM選択部13に設定することによって制御部14と通信インターフェイス11を介して選択できる。特にビデオオンデマンドなどの場合、利用者のCMの選択はあらかじめ要求情報の指定とともに、通信インターフェイス11を介して情報提供者に送られる。また、本来の情報にCMを挿入するか挿入しないかの処理は情報提供者が行う。

【0015】図2はマルチメディアネットワークにおいて情報提供者が用いる情報提供者用端末装置20の実施例を示す。この端末装置20は、ビデオ作品を多数保持するビデオオンデマンドライブラリ21、CMを多数保持するCMデータベース22、ビデオ作品に利用者の請求によりCMを挿入するCM挿入部23、利用者の請求によりビデオオンデマンドライブラリ21やCMのデータベース22の中から作品を検索したり、CMの挿入を制御したりする制御部24、利用者とスポンサにCMの有無に応じて制御部24の制御により課金する課金部25、伝送路と制御部24との情報交換を行う通信インターフェイス26から構成される。

【0016】この端末装置20は、映像を主とする情報を利用者の指定に応じて通信インターフェイス26を介して利用者に情報を送信するものである。利用者によりCMの挿入が指定されている場合は、制御部24の管理によりCMデータベース22からCMの映像と音声が取り出され、CM挿入部23でビデオオンデマンドの信号に適当なタイミングで挿入される。CMを挿入した作品を鑑賞する場合は、課金部25においてビデオオンデマンドの作品に応じた金額がスポンサに課金され、利用者は無料あるいは広告無しの場合より安い額の課金で鑑賞することができる。

【0017】利用者がCMを選択しない場合は、制御部24の管理によりビデオオンデマンドの映像と音声の情報がそのまま送り出される。この場合、課金部25において通信インターフェイス26に接続されている利用者用端末装置10に対してその利用者にビデオオンデマンドの作品に応じた金額が課金される。

【0018】課金部25は図3に示すように、課金データベース27と累積金額記憶装置28と課金装置29とからなり、制御部24より課金の対象者とサービスの種別とが課金部25に伝えられ、累積金額記憶装置28から対象者の累積金額が課金装置29に読み出され、課金データベース27によりサービスの種別に応じた金額が課金装置29で計算され、スポンサに通信インターフェイス26を介して伝えられる。尚、その度に支払われる場合は累積金額記憶装置28は省略できる。利用者とスポンサにはそれぞれ課金の請求が行われる。

【0019】図4はマルチメディアネットワークにおいてスポンサが用いるスポンサ用端末装置30の実施例を

示す。この端末装置30は伝送路と制御部31との情報交換を行う通信インターフェイス32、通信インターフェイス32とスponサ入出力部33を制御する制御部31、スponサが課金額を表示したり変更したりするスponサ入出力部33から成る。さらに必要に応じて各情報提供者からの課金請求や各CMの課金額を記憶しておく課金データベース34が加わる。

【0020】上記の構成において、通信インターフェイス32を介して情報提供者から課金の請求があった場合、この情報をスponサ入出力部33へ出力して課金の明細をスponサに伝える。また、課金データベース34を有する場合は、各情報提供者からの課金請求や各CMの課金額を記憶しておくこともできる。

【0021】図5は上述した各端末装置10、20、30をネットワーク40に接続して構成されたマルチメディア通信システムを示す。この図示の例では、各端末装置10、20、30を2個づつ用いた場合を示しているが、少くともそれぞれ1個以上用いてよい。また、ネットワーク40としては、例えばATMネットワークが用いられる。尚、以下の説明においては、説明を判り易くするために、各端末装置10、20、30をそれぞれ単に利用者10、情報提供者20、スponサ30と呼ぶものとする。

【0022】上記の構成において、ある利用者10から一つの情報提供者20にビデオオンデマンドのCM付きのサービス請求を行う場合は、まず、利用者10は情報提供者20に接続しCM付きビデオオンデマンドの請求を行う。続いて情報提供者20はCM挿入部23で、CMデータベース22からのCMをビデオオンデマンドライブリ21からの映像情報に挿入して利用者10に送る。続いて情報提供者20の課金部25は課金データをスponサ30に通知し課金額が請求する。この時、料金の金額がスponサ30の負担でない場合は、利用者10にも課金の一部が請求される。

【0023】また、利用者10がCM付きでないサービスの請求をした場合は、利用者10は情報提供者20に接続し、CMの無いビデオオンデマンドの要求をする。続いて情報提供者20からビデオオンデマンドライブリ21の映像情報が利用者10に送られる。続いて情報提供者20の課金部25の課金データが利用者10に通知され課金額が請求される。

【0024】尚、利用者10がCM付きのサービスを請求した場合、その視聴の頻度に応じて情報提供者20がスponサ30に請求する課金額を変化させるようにしてもよい。その場合は、課金データベース27に視聴頻度

に応じて課金額を設定しておけばよい。さらに、利用者10が同一のサービスに対してある視聴頻度を越えた場合に、その課金額に上限を設けるようにしてもよい。すなわち、ある回数以上になると、課金額をゼロにする。場合によってはその回数を一回のみにしてもよい。

【0025】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、利用者が受信したCM等の付加情報に応じてスponサに課金するようにしたことにより、マルチメディアによるCM等の付加情報を利用する者が受信あるいは使用した場合、利用者に課金するのではなく、情報発信者であるスponサに課金できるので、利用者はより軽い負担で情報入手でき、公平で適正な料金体系を実現できると共に、マルチメディアネットワークのサービスの質を良くすることができる。

【0026】さらに、請求項6、7の発明によれば、マルチメディアネットワークに適した利用者用端末装置、情報提供者用端末装置を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】利用者用端末装置の実施例を示すブロック図である。

【図2】情報提供者用端末装置の実施例を示すブロック図である。

【図3】情報提供者用端末装置の課金部の実施例を示すブロック図である。

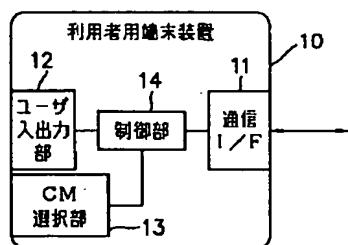
【図4】スponサ用端末装置の実施例を示すブロック図である。

【図5】マルチメディア通信システムの実施例を示すブロック図である。

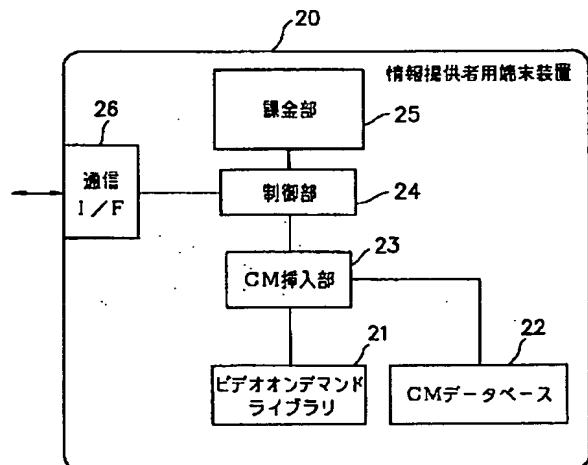
【符号の説明】

- 10 利用者用端末装置
- 11 CM選択部
- 14 制御部
- 20 情報提供者用端末装置
- 21 ビデオオンデマンドライブリ
- 22 CMデータベース
- 23 CM挿入部
- 24 制御部
- 25 課金部
- 30 スponサ用端末装置
- 31 制御部
- 33 スponサ入出力部
- 34 課金データベース
- 40 ネットワーク

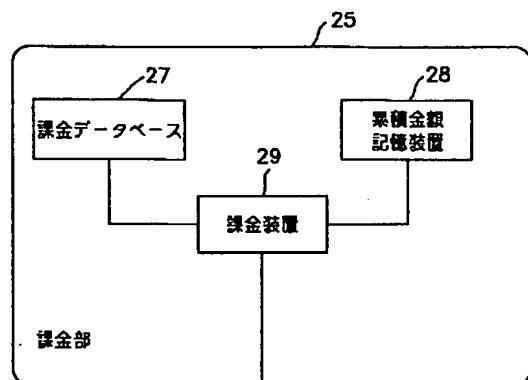
【図 1】



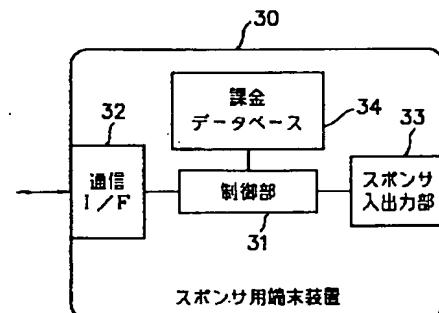
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

